

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	東邦大学健康科学ジャーナル投稿規定
作成者（著者）	FD 委員会 研究推進検討会
公開者	FD 委員会 研究推進検討会 (東邦大学健康科学部)
発行日	2019.12.01
ISSN	24343838
掲載情報	東邦大学健康科学ジャーナル. 2. p.33 41.
資料種別	その他
内容記述	資料
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD69704595

東邦大学健康科学ジャーナル投稿規定

【編集方針】

健康科学部の教育の向上と研究推進を目的とし、健康科学分野における教育・研究成果の報告の場とする。

1. 投稿の資格者と投稿条件

- 1) 投稿の資格者は、東邦大学の専任教員または健康科学部の非常勤講師あるいは健康科学部教員の共同研究者とする。共同研究者が筆頭の場合は、共著者に必ず健康科学部専任教員が含まれるものとする。ただし健康科学部健康科学ジャーナル編集会（以下、編集会）が依頼あるいは認めた場合はその限りではない。
- 2) 投稿する原稿は、健康科学分野の教育・研究に寄与しうるものであり、他誌にすでに発表あるいは投稿されていないもの、投稿中でないものとする。なお、二重投稿が明らかになった場合は、当該論文を不採用あるいは削除処分とし、該当する会誌の編集会に通知する。

2. 投稿原稿

1) 投稿原稿の種類と内容

(1) 総説

健康科学に関わる特定のテーマについて、広い知見を拠り所とし学問的に概説された健もの。編集会が依頼する。

12,000 字以内、キーワード 5 個、引用文献 50 以内

(2) 原著

健康科学の知識の発展に貢献する独創性に富む論文で、明確かつ十分な新たな知見をみとめる論文。

16,000 字以内、キーワード 5 個、引用文献 30 程度

抄録：和文 400 字、英文 200words

(3) 報告

健康科学の発展において、教育現場や臨床、地域社会などに示唆をもたらす、資料としての価値があるもの。例えば、症例報告、(教育) 実践報告、活動紹介などをさす。

情報が限定されている、または少ないなどの理由で原著論文の基準を十分に満たしていないが学術的には価値がある論文。

12,000 字以内、キーワード 5 個、引用文献 30 以内

抄録：和文 400 字、英文 200 words

(4) 短報

健康科学分野の研究として迅速に公表する意義のあるもので、公表により健康科学の発展に寄与する可能性があるもの。

4,000字以内、キーワード5個、引用文献10程度

(5) Letters to the editor

本誌発表1年以内の論文に対する各種意見・質問・討議などを述べたもの。

1,600字、キーワード3個、引用文献5程度、図や表はなし

(6) 研究紹介

自らの研究、または関わった研究を題材とした、完結で短い総説。

3,000字、キーワード3個、引用文献5程度、図や表は3個以内

(7) 学会レポート

参加した学会の様子やトピックなどを報告するノート。

2,000字、写真、図・表は3個以内、キーワードや引用文献はなし

2) 原稿の構成

(1) **表題 Title** : 論文の内容を明確に示す。必要であれば副題をつける。

(2) **著者 Authors** : authorship に該当する者のみを著者とする。

(3) **抄録 Abstract** : 論文の内容を簡潔に説明する。

(4) **キーワード Keywords** : 論文の重要なテーマを表す専門用語などを示す。1 keyword, 1 concept を原則とする。

(5) **序文 Introduction** : 研究の背景、研究を行う理由や仮説を説明し、目的を明確に示す。

(6) **方法 Materials & methods** : 結果を得るためのデータ収集の方法や実験の方法を説明する。読み手がデータ収集や実験を再現できるよう詳細を明確に示す。

(7) **結果 Results** : 調査により明らかとなった結果・成果・所見について、データに基づき具体的に示す。

(8) **考察 Discussion** : 研究結果の意味・意義を検討し、論理的に結論を導き示す。研究が健康科学の進歩にどのように寄与するのか、未解決の問題や今後の課題・展望などについて示す。

(9) **結論 conclusion** : 研究目的が達成されたか否かの評価を、1パラグラフ程度で簡潔に示す。

(10) **利益相反 Conflict of interest** : 利益相反がある場合、内容や対応について明記する。研究費の支援を受けた場合はここに記す。

- (11) **文献 References**：論文を執筆するにあたり、研究に関係する情報および常識以上の知識については引用として示す。
- (12) **補足資料 Supplementary material**：生データの表、動画、写真などをさす。論文にとってそのデータが有用と考えられる場合は添付できる。

■ Authorshipについての規程

ICMJE: International Committee of Medical Journal Editors が発表している基準

- Substantial contributions to the conception or design of the work; or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work; AND
- Drafting the work or revising it critically for important intellectual content; AND
- Final approval of the version to be published; AND
- Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

以上に基づき、本ジャーナルでは「研究の構想およびデザイン、データ収集・分析および解釈に寄与し、論文の作成に関与し、最終原稿を確認した者」を「著者」とする。

3) 原稿作成書式

(1) 基本的な書式

① ページ設定

横書き

用紙サイズ A4 たて

余白 (右図参照)

上 25mm 下 20mm

左 25mm 右 25mm

段組

a) 表題部 (表題、著者名)

1 段組

b) 抄録部 (和文、英文)

1 段組

c) 論文部 (論文、引用文献リスト)

2 段組

d) 行数

40 行

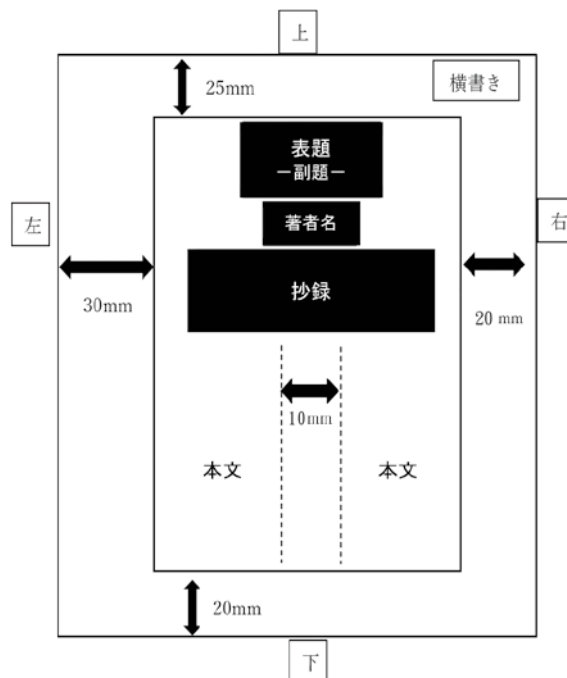
e) 文字数

1 段組：1 行 40 字

2 段組：1 行 20 字

② 原稿の印刷

本文、表、図、写真などは黒色で印刷されていること。



(2) 論文作成の詳細

原稿は、原則としてワードプロセッサ(MS WORD 等) で作成する。

①表題部

a) 表題

文字: フォント =MS 明朝 (英数字は Century)

太さ=太字

大きさ= 14 ポイント

配置: 中央揃え (センタリング)、2 行以上にわたるときの 2 行目以下も中央揃えとする。

表題は 1 行 30 文字以内が望ましく、それを超える場合は改行する。

b) 副題 (サブタイトル)

文字: フォント =MS 明朝 (英数字は Century)

太さ=普通 (または標準)

大きさ= 12 ポイント

配置: 論題との間に 1 行空白行を設ける。空白行の高さは 9 ポイントとする (以下の空白行もすべて同様)。

中央揃え (センタリング)、2 行以上にわたるときの 2 行目以下も中央揃えとする。

副題には、前後に (ダッシュ) を付す。

c) 著者名

文字: フォント =MS 明朝 (英数字は Century)

太さ=普通 (または標準)

大きさ= 12 ポイント

配置: 表題 (副題がある場合は副題) から、2 行空白行を設けた後の行から記述する。

著者が複数いる場合は 2 文字分の空白をあける。

中央揃え (センタリング)、2 行以上にわたるときの 2 行目以下も中央揃えとする。著者名の姓と名の間は 1 文字分の空白を置く。

著者 4 人までは 1 行に記載し、これを超えるときは、次の行に記載する。

以下、著者の増加には同じ方法で対応する。

著者が複数おり所属が異なる場合は、代表著者から昇順に末尾右肩に番号を付す。なお、「d) 著者の所属」の項も併せて参照すること。

d) 著者の所属

文字: フォント =MS 明朝 (英数字は Century)

太さ=普通 (または標準)

大きさ= 8 ポイント

配置: 1 ページ目の最後の行の次に罫線を引きその次の行から記述する。最初の行は、代表著者の所属、著者が複数おり、その所属が異なる場合は、代表著者から先頭に番号を付して、順に異なる所属を 1 行ずつ記述する。

その他: 所属名は正式名称を記載する。

②抄録部

- a) 和文抄録は、著者名の最後の行から2行空白行を置いてから記述する。
英文抄録は、文末最後の行から3行空白をおいてから記述する。
文字：フォント＝MS明朝（英数字はCentury）
太さ＝普通（または標準）
大きさ＝9ポイント
配置：1行40文字、40行
中央に配置
インデントは3文字分、字下げは1文字分設けるのが望ましい。
- b) キーワードは、抄録の最後の行から1行空白行を置き、5語以内で記述する。
「キーワード」で始まり、スペースで区切る。

③論文部

論文部は、抄録の最後の行から2行空白行を置いてから記述する。

- a) 章に相当する表題（以下、章題）および章番号
文字：フォント＝ゴシック
太さ＝太字
大きさ＝10.5ポイント
配置：章題および章番号の上は空白行を1行設ける。
左詰め
- b) 章中の小項目の表題（以下、項目題）および項目番号
文字：フォント＝MS明朝（英数字はCentury）
太さ＝普通（または標準）
大きさ＝10.5ポイント
配置：前行が章題（章番号）でない場合、上に空白行を1行設ける
前行が章題（章番号）の場合は、空白行を設けない。
左詰め
- c) 本文
常用漢字、新仮名づかいを用いて作成する。カタカナは必ず全角とする。
論文中の句読点の表記は、「、」（テン全角）および「。」（マル全角）を使用する。
可能であれば、禁則処理をすること。
文字：フォント＝MS明朝（英数字はCentury）
太さ＝普通（または標準）
大きさ＝10.5ポイント
配置：1行20字、40行
章題（項目題がある場合は項目題）または章番号（項目番号がある場合は項目番号）
の次の行からはじめる。
左詰め

④使用記号および引用文献

文字：フォント =MS 明朝（英数字は Century）

太さ = 普通（または標準）

大きさ = 10.5 ポイント

表記：使用記号の表記は各分野の慣行に従う。

引用文献の表記は「(5) 引用文献の記載について」を参照する。

配置：2 段組

(3) 図および写真の掲載

①図および写真の作成

図および写真については、著者が原稿中に作成したものをそのまま使用する。

図および写真の番号、説明などの文字の大きさは、9 ポイントを原則とする。

また、A4 判 1 枚につき 400 字として換算し、A4 判を超過する場合は、1 つの図表が最大 A4 判 2 枚 (800 字換算) までとする。

②図および写真の番号、説明など

図や写真のタイトルは、原則として番号を図または写真の下に記入する。

特に必要がない限り、一連のアラビア数字を用いた続き番号とする。

図の番号、タイトル、凡例解説、説明文は一読することで、内容が明らかとなる表記とし、次の例を標準とする。

図1 東邦大学の現状

Fig. 1 紀要における図の書き方

Fig. 1 Thermal stability of …….

③表について

表のタイトルは表の上端中央に記し、凡例解説等は下端に記し、左詰めとする。

表の番号は特に必要がない限り、一連の数字とする。

(例) Table 2 Percentage of Japanese blood type

blood type		%
Type A	Rh(+)	39.8
Type O		29.9
Type B		19.9
Type AB		9.9
Type A	Rh(-)	0.2
Type O		0.1
Type B		0.15
Type AB		0.05

(4) 資料について

必要に応じて「資料」を本文末尾に添付できる。A 4判 1 枚あたり 400 字換算とし、1 つの資料が A4 判を超過する場合には、最大 A 4判 4 枚 (1,600 字換算) までとする。資料の文字数は本文の文字数に含めて換算する。2 枚 (800 字換算) までとする。

(5) 引用文献の記載について

引用文献の巻末の記載には、基本的に APA 論文作成マニュアルに準ずる。

①引用文献について、本文最後一括して文献リストを作成する。

②文献リストの記載方法

下記のように文献を記載し、本文最後にリスト作成する。

掲載は、筆頭著者のアルファベット順に並べる。

a) 雑誌論文の場合

著者名 (発行年次) : 論文の表題. 雑誌名, 巻, 号, 論文掲載ページ数.

例) 門脇緑 (2016) : がん患者との End-of-life discussions の概念分析. 日本看護科学会誌, 36 巻, 263-272.

b) 単行書の場合

著者名 (発行年次) : 本の表題. 発行所.

例) 宮坂道夫 (2016) : 医療倫理学の方法 第 3 版 : 原則・ナラティブ・手順. 医学書院.

c) 翻訳書の場合

原著者名 (原書の発行年次 / 翻訳書発行年次). 翻訳者名 (訳), 邦題. 発行所.

例) Florence Nightingale. (1859/2016). 湯楨ます, 薄井担子, 小玉香津子, 田村眞, 小南吉彦 (訳), 看護覚え書—看護であること看護でないこと— (改訳第 7 版), 現代社.

d) オンライン出典の場合

通常の本誌情報に続けて URL を記載する。

URL の一部と混同する恐れがあるので、URL のあとにピリオドはつけない。

例) 酒巻妙子, 土屋尚義, 村越康一. (1978). 在宅人工腎臓透析患者の食事について. 四大学看護学研究会雑誌, 1 (2), 3-13. e) オンラインで Digital Object identifier DOI (インターネット上の出典を特定する) のある場合
本誌情報に続けて DOI 番号を記す。

例) 内布敦子. (2011). 巻頭言 日本看護科学学会の将来構想について考える機会に恵まれて. 日本看護科学会誌, 31 (1), 1. doi.org/10.5630/jans.31.1_1

f) インターネット情報

ホームページの執筆者名 (年月日). タイトル. サイトの URL (http://www.)

より逐次的な更新が前提となっているコンテンツを引用する場合には、検索日を記載する。

3. 倫理的配慮

人および動物を対象とした研究は、倫理的な配慮がなされており、その旨が文中に記載されていること。また、承認を得た倫理審査委員会名と承認番号を記載すること

4. 利益相反に関する事項の開示

利益相反の項に、当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無を記載する。利益相反となるような経済的支援を受けた場合は、その旨を明記する。利益相反状態が存在しない場合は、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

なお、投稿時に健康科学ジャーナル利益相反 (COI) 報告書 (様式 1) を添付すること。

5. 投稿の手続き

- 1) 投稿前に投稿原稿チェックリスト (様式 2) を用いて、投稿論文を確認する。投稿原稿チェックリストは投稿原稿とともに提出する。
- 2) 投稿原稿の表紙 (様式 3) には、①希望する論文の種類、②表題 (和文と英文表記)、③キーワード、④共著者を含む著者名 (日本語とローマ字表記)、⑤所属機関 (日本語と英語表記)、⑦連絡者氏名、⑧連絡先 (住所、電話番号、メールアドレス) を記入する。
- 3) 原稿は、正原稿 2 部と、所属、著者名、受審した倫理審査委員会名と承認番号、謝辞など著者が特定できる情報を削除した副原稿 2 部の合計 4 部を提出する。
- 4) 査読後の修正原稿は、修正した正原稿 2 部と副原稿 2 部を提出する。
- 5) 投稿原稿の提出先は、以下とする。

〒 274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1 東邦大学健康科学部 健康科学ジャーナル編集会宛

*投稿原稿の封筒の表に「健康科学ジャーナル原稿」と朱筆すること。

6. 投稿原稿の受付及び採否の決定

- 1) 投稿原稿の締め切りは 10 月 31 日 (必着) とし、原稿の到着日を受付日とする。
- 2) 原稿 (原著・報告・短報) は、査読を受ける。
- 3) 投稿原稿の採否の決定は、査読後に健康科学ジャーナル編集会が決定する。
- 4) 健康科学ジャーナル編集会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。

- 5) 審査の結果は投稿者に通知する。
- 6) 採択された場合、完成原稿（.doc あるいは .docx）と原稿を保存したメディア（CD-ROM）を提出する。なお、メディアは返却しない。
- 7) 原稿を取り下げる場合は、理由とともに編集会に願い出る。

7. 著者校正

著者校正は1回とし、誤字脱字等の修正のみとする。
校正の際の大幅な加筆、修正は認めない。

8. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料は原則として無料とする。
- 2) 別刷りは、30冊までは無料とし、それ以上は著者の実費負担とする。
- 3) ただし、図表など印刷上特別な費用を必要とする場合は、実費負担とする。

9. 著作権

掲載原稿の著作権は東邦大学健康科学部に帰属する。著作権譲渡同意書（様式4）に著者全員が自筆署名し、最終原稿提出時に原稿とともに提出すること。提出後は本学部の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。

付則

この規定は、平成29年9月6日より施行する。

付則

この規定の改正は令和元年11月13日より施行する。